もりのくま通信第３４０号

令和８年10月25日号

【３４０号になりました：最近の流行情報】

現在、インフルエンザ（主にA型）が流行の主流になりつつあります。保育園・幼稚園や学童、運動クラブ内の情報にご留意ください。当院も**LINEやもりのくま通信**（Hpからダウンロード可）で最新の流行情報やワクチン情報を発信します。

【インフルエンザの検査について】

インフルエンザの検査（迅速診）は、最近の研究では、24時間以降が推奨されています。あまり早い時間帯ですと、陽性にならないことが少なくありません。また、新型コロナも発熱直後より、一定の時間が経過した後の検査陽性率が高いといわれております。

Table 2 Timing of examination and the sensitivities/specificities of the antigen test

A) All patients (n = 313)

	Antigen testing			
	Sensitivity	p-value*	Specificity	p-value*
Time after the onset of symptoms to the PCR testing				
<12 h	38.9 (17.3-64.3)		100 (91.4-100)	
12-24 h	49.5 (35.6-56.7)	0.03	100 (97.9-100)	1.00
24-48 h	65.2 (49.8-78.6)		100 (93.2-100)	
>48 h	69.6 (47.1-86.8)		100 (91.4-100)	
Overall				
	54.3 (45.3-63.1)		100 (98.0-100)	

37.8℃以上の発熱および咳または咽頭痛を認める場合をInfluenza-like illness（以下ILI）とし、加えて，インフルエンザ様症状の発症時から受診までの時間を測定した．インフルエンザ様症状の発症時は，37℃以上の体温上昇，寒気・体熱感，咳，喀痰，倦怠感，咽頭痛，筋肉痛・関節痛，頭痛，鼻汁・鼻閉のいずれかの出現時と定義した．

明石 祐作他：発症から検査までの時間がインフルエンザ迅速抗原検査に与える影響 感染症学会誌 2021年95巻1号 p. 9-16

この研究では発熱12時間以内が陽性率38.9%、12～24時間が49.5%、24時間～48時間が65.2%となっており、発熱後24時間以上経過した検査を勧めています

【年末年始の診療について】年末年始は下記のように診療致します。

	１２月２８日	２９日	３０日	３１日	１月１日	２日	３日	４日	５日
午前	○	○	休診	休診	休診	休診	休診	○	
午後	○	○	休診	休診	休診	休診	休診	○	



LINEからも、診療時間や予防接種情報、病気の流行やワクチン、急な出張（休診）のお知らせなど、みなさまに役立つ情報を積極的に発信していきます。どうか登録をお願い致します(^_^)　登録、350名にあと少し！！

有り難うございます！！